

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M212V206	地域看護管理論 (Community Health Nursing Practice V)	専門教育科目 地域看護学

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
必修	1	2	後	月・4	後藤 奈穂・金崎理子 内線:5092 E-mail : chide@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

人々の健康生活の向上を図るため、地域看護管理の特徴を学び、事例・事業・地区管理、組織運営・人材育成管理など、管理・運営機能について理解する。また、健康危機管理における公衆衛生看護活動の実際と役割を学ぶ。

新カリに際して、多発する災害や新感染症発生、児童虐待等に関連する事例をとおして、施策化および健康危機管理についての学びを充実させる。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 地域看護管理の概念と構造を述べる	○						
2. 地域看護活動における事例管理・事業管理・地区管理のあり方について説明する	○				○		
3. 地域看護活動に係る組織運営・人材育成・人材管理など管理・運営機能について説明する	○			○			
4. 地域看護活動における健康危機管理の特徴と施策化について具体的な展開方法を述べる	○			○	○		

【授業の内容】

1	地域看護管理とは
2	地域看護活動における事例管理・事業管理・地区管理
3	地域看護活動における組織運営管理
4	地域看護活動における人材育成・人材管理
5	健康危機における公衆衛生看護活動の実際と役割(1)
6	健康危機における公衆衛生看護活動の実際と役割(2)
7	健康危機における公衆衛生看護活動の実際と役割(3)
8	行政機関に働く看護職の活動の実際と今後の課題

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	授業終了時のカード記入	・教科書を使って事前に各自が学習内容の概要を確認し疑問点を整理しておく、疑問を出し合い討議する。 ・動画や事例を用い、イメージを拓げる。
B：意見の表現・交換	○	グループ検討	
C：応用志向	○	グループ間討議・発表	
D：知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	教科書等を用い次回の学習内容について予習し、概要と疑問点を予習シートに整理し講義に臨む (16h)
事後学修	配布資料・教科書を用い授業で学習した内容を復習する (8h)

【教科書】宮崎美砂子他編：最新公衆衛生看護学 第2版 総論 2023年版. 日本看護協会出版会, 2023
宮崎美砂子他編：最新公衆衛生看護学 第2版 各論2 2024年版. 日本看護協会出版会, 2024
厚生労働統計協会, 国民衛生の動向, 2022/2023

【参考書】

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4
課題レポート	20%	○	○	○	○
期末試験	80%	○	○	○	○

【注意事項】

【備考】

教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	保健師（都道府県・保健所・市町村・事業所・病院）	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	地域看護活動における管理の展開方法を実務経験を交えて理解しやすく講義する。	
授業形態	面接授業	